令和４年度調査研究委員会　実践報告シート

学校名（　榴岡小学校　）名前（　小島　周一　）

〔実践報告Ⅰ〕「フレッシュ先生校内研修」において工夫した取組

・校内研修の指導教員の割り当ての工夫

主に校務分掌（得意とする分野）を基に割り当てた。

フレ研対象者の中でも４年目等経験年数の多い教諭による研修

→日程の調整が難しく，実現できていない。

・**校内研修の形態の工夫**

Ⅰ対Ⅰ

グループで

Ⅰ対複数

・校内研修の研修内容・方法の工夫　等

〇日常的な研修

学年主任による学年会の工夫：定例・臨時

学年主任やミドルリーダーによる教材研究，児童指導・保護者対応等の相談

〇得意分野を生かした指導者による校内研修（フレッシュ先生研修を包括）

初任者　R04_06_07（嘔吐処理）

全職員　R04_04_11（健康トライアングル）　R04_04_11（食物アレルギー）

R04_04_27（ロイロノートの使い方）　R04_06_16（総合的な学習の時間の進め方）

R04_06_21（特別支援教育）　R04_07_13（学力分析）

R04_08_31（SC 講習会）　R04_12_19（LGBTQ）

希望者　R04_07_01（プールの使い方）　R04_11_02（Kahoot!体験）

＜例＞

ロイロノートの使い方

講師は情報教育主任，対象は全職員，放課後の 30 分程度で行った。講師が教師役，受講者が児童役として参加した。

教師役を体験したいという声がいくつかあり，**指導者からは，研修の構成を研究していきたいという感想**があった。

受講者からは，「実際に使い，体験しながら学ぶことで使い方について知ることができました。授業の中で活用することができるようさらに学び取り入れていく努力をしたい」という感想が見られた。

総合的な学習の時間の進め方

講師は研究主任，対象は全職員，放課後の 30 分程度で行った。グループになり，複数の教員で協議を行い，課題を共有したり，方策を検討したりした。

講師からは，「常に相談できる同僚性も肝要だと考えており総合に限らず徒弟制が今後若手を育成していくために大切になるのではないかと思った。」という感想が見られた。

受講者からは「総合的な学習ではスパイラル型でテーマに沿って学習を積み重ねることの重要性が分かりました。子供たちにとって身近にあるものを課題とすることで子供たちが自分事として考え行動しようと力を身に付けていくことにつながると感じました。」という感想が見られた。

プールの使い方

講師は体育主任，対象は全職員，放課後の 30 分程度で行った。新型コロナの影響で過去 2 年間プール使用ができなかったことや校舎増築によるプールが新しくなったこと等により，**希望性制の研修で会ったがほとんどの職員が参加した。**

講師からは「フレ研の先生方に一つ一つ丁寧に説明，確認することにより私自身が再度注意しなければいけないこと等を確認することができよい機会になった。フレ研の先生方がプールのことについて積極的に質問したり機械等を試したりしている姿が印象的だった。」という感想が見られた。

受講者からは「プールの指導や使い方を教員として初めて学びました。子供たちが安全に学習することができるようプールの使い方を覚えたいと思います。塩素の量やプール当番の時のチェックの仕方等，実践しながら身に付けていきたいです。(3 年次)」という感想が見られた。

〔実践報告２〕「若手教員の研修意欲を高めるための取組」において，実践した事例

・「校内研修振り返りシート」による目標設定と振り返り

自分のことを振り返ることで，それぞれが課題を把握し，今後取り組みたいことを目標として設定することができた。また，取り組みたい研修について積極的に参加することができた。

・その他の取組

職員会議や定例の打合せで「フレッシュ先生研修の伝達講習」を行うよう呼びかけた。口頭ではあったが，実際に伝達したフレッシュ先生研修対象者からは「今回のフレ研は，学習指導の研修でした。その中で私が改めて大切だと思ったことは，「指導事項」の確認です。この単元で，どんな力をつけたいか明確にしなければ，活動や発問もぶれてしまうと感じました。今後の授業作りに生かしたいです。」という感想が見られた。